



男性用トイレ 小便器

女性用トイレ 大便器

埼玉県茶業研究所 / 講堂

茶の耐寒性品種の育成、栽培・製茶加工技術の研究開発を通し、狭山茶の振興を図る研究所

様々な研究に加え、試験研究成果の速やかな普及を通し、埼玉県の代表的な特産物である「狭山茶」の振興を図る試験研究機関。建物の老朽化により建て替えられた講堂には、オストメイト対応流しを備えた多機能トイレの他、断水時にも配慮したレジリエンストイレを設置している。



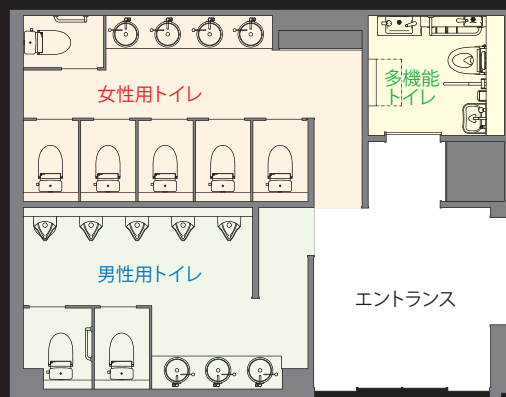
外観全景

DATA

施主：埼玉県設備課
 設計：株式会社サナクト
 施工：埼玉設備工業株式会社
 所在地：埼玉県入間市上谷ヶ貫244-2
 竣工：2021年2月

商品情報

- <一般トイレ>
- レジリエンストイレ : BC-P112SA・DT-PB150CH
- シャワートイレ : CW-PC12-NE
- 小便器 : U-A51AP
- 洗面器 : L-2260
- 自動水栓 : EHMN-CA3ECSB3-213
- 水石けん入れ : KF-24ELM
- <多機能トイレ>
- 多機能トイレパック : PTWC-FC241L1A1AWWW
- シャワートイレ : CW-PC12-CK-UR-TU



平面図

掲載内容及び写真・図版の無断転載はかたくお断りします。(許可なく転載・流用した場合、損害賠償が発生します。)

受水槽



非常時の水源確保のため、屋外には受水槽を設置。そばに利用方法を掲示し、写真付きで手順を説明している。(※受水槽はトイレと別工事)

施設管理者様の声

埼玉県では茶の生産が盛んで「色は静岡、香は宇治よ、味は狭山でとどめさす」と歌われるように、「狭山茶」の名は全国的にも知られています。埼玉県茶業研究所は耐寒性品種の育成をはじめ茶園管理技術や製茶技術の研究開発等を行っておりますが、レジリエンストイレを採用した講堂については「狭山茶」の振興拠点として各市町の茶品評会や茶業者の検討会などに広く利用されています。

一方で、講堂は災害対策基本法第42条に基づく入間地域防災計画における指定避難所に指定されています。近年全国的に大雨や地震など天災が増加傾向にある中、今回老朽化した講堂を建て替えるにあたり、避難施設として開設された場合に備えて何かできないかと設計段階から関係者間で検討を進めていたところ、LIXILさんのレジリエンストイレに辿りつきました。

災害時を想定したときに、ライフラインの断絶により「水」の確保が困難となることから、僅か1リットルの水量で水洗トイレ機能を維持できることは、避難生活でストレスを抱える避難者の方々に大いに役に立てるのではないかと考え、今回採用させて頂きました。

建物完成後には、トイレ内に災害による断水時での使い方を分かりやすく書かれた資料を掲示すると共に、当研究所の職員にも周知してもらえるようLIXILさんから断水時の使い方をレクチャーして頂きました。

最後に大きな災害が起こらないことを心から祈るばかりですが、万が一に備えて日々できることに取り組み、県民の安心・安全を守っていききたいと思います。

茶業研究所 / ご担当者様

茶畑



平坦な台地一面に広がる茶畑。研究所では200種以上のお茶を栽培している。

トイレ入り口まわり



シンプルなトイレサインを表示。多機能トイレにはスムーズにアクセスできる。

多機能トイレ



各種手すりや車椅子対応機器の他、オストメイトの方へ配慮した流しやおむつ交換台を設置。万が一に備え、室内には呼び出しボタンを2カ所に備えている。

女性用トイレ



洗面カウンターにはゲースネックタイプの自動水栓を採用し、利用者の使いやすさと衛生面に配慮。大便器は、洗浄水量を5Lから1Lに切り替えることで、使い慣れたトイレを断水時も使用できるレジリエンストイレを設置。洗浄水量1Lで使用しても汚物が詰まらないよう、地下ビット内の排水配管は45°の勾配を付けて施工されている。

